やなせたかしが生きた時代

新宿区に長く生まれ、名誉区民でもあるやなせたかしさんの描く「アンパンマン」は昭和 63(1988)年のテレビアニメ化を機に市民権を得て、以来多くの人に親しまれています。令和7(2025)年は、日本の太平洋戦争におけるポツダム宣言の受諾、無条件降伏から 80 年の節目となりますが、作者をモデルにした連続ドラマが放映され、改めて脚光を浴びています。

アンパンマンだけでなく、日本のアニメやマンガは今や一大娯楽・産業となりました。その黎明期を支えたマンガ家の中には戦争体験者も少なくありません。それだけに、彼らの作品はたとえ直接戦争を取り上げないファンタジーだとしても、送り手、受け手双方の戦争や平和への向き合い方が反映されてもいるでしょう。

そんな日本の文化に触れながら、「戦後」を振り返られるような施設やウェブサイトを集めました。この 80 年、私たちは多くの戦争、テロを見てきました。今も世界で紛争は止みません。平和とはいったい何なのか考え、自分なりにできることを実践する端緒としていただければ幸いです。

※掲載した情報は令和7(2025)年6月 19 日現在のものです。詳細や最新情報は、公式ホームページ等をご確認ください。

やなせたかし・アンパンマンについて調べる

○関連施設

●香美市立やなせたかし記念館

<https://anpanman-museum.net/>

〒781-4212 高知県香美市香北町美良布 1224-2

TEL:0887-59-2300

営業時間:9時30分～17時 休館日:火曜日(祝日の場合はその翌日)

「アンパンマンミュージアム」「詩とメルヘン絵本館」と様々な企画・展示を行う別館があります。有料、予約制。

●横浜アンパンマンこどもミュージアム

<https://www.yokohama-anpanman.jp/>

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 6-2-9

TEL:045-227-8855

営業時間:10時～18時 休業日:ホームページで案内

アンパンマンの世界を楽しめるミュージアム(有料)と、ショップ&フード・レストラン(入場無料)があります。

●やなせたかしの店 アンパンマンショップ

<http://anpanmanshop.co.jp/>

〒160-0006 東京都新宿区舟町 7 ロクサンビル 1F

TEL:03-3226-8180

営業時間:12時～18時 定休日:月曜日(祝日の場合は翌日)

「やなせたかし先生がつくったお店。」多彩なアンパンマングッズがあります。

○ウェブサイト

●アンパンマンポータルサイト

<https://www.anpanman.jp/>

アンパンマンの歴史やキャラクター紹介があります。

●アンパンマンとフレーベル館

<https://www.froebel-kan.co.jp/company/anpanman>

出版元による「アンパンマン」絵本の歴史が見られます。

●NHKアーカイブス やなせたかし

https://www2.nhk.or.jp/archives/articles/?id=D0009250384_00000

NHKによるインタビュー動画があります。

●「箱入りじいさん」の94年 やなせたかし×糸井重里 ほぼ日刊イトイ新聞

https://www.1101.com/yanase_takashi/?srsrtid=AfmBOoqAs3oBgy5fO-yIHrNWTOK4wZezk6Vc1i6iJpHaeOOJG8H8YTC

糸井重里さんとの対談の書き起こしです。

●アンパンマンこどもミュージアム

<https://museum.anpanman-acm.co.jp/>

仙台、横浜、名古屋、神戸、福岡にある同施設のポータルサイト。

●「新宿シンちゃん」について やなせたかしさんの言葉

https://www.city.shinjuku.lg.jp/video/video0073_yanase.html

「新宿シンちゃん」はやなせたかしさん寄贈の防犯マスコット。アニメーション動画のリンクもあり。

マンガ関連施設・ウェブサイト

●現代マンガ図書館

<https://www.naiki-collection.jp/>

〒101-8301 東京都千代田区神田猿楽町 1-7-1

TEL: 03-3296-4554

開館時間: 月・金 14時～20時 土・日・祝日 12時～18時 休館日: 火・水・木曜日

国内最大級のマンガ専門図書館。閉架式。

●トキワ荘マンガミュージアム

<https://tokiwasomm.jp/>

〒171-0052 東京都豊島区南長崎 3-9-22

TEL:03-6912-7706

開館時間:10時～18時 休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)

戦後日本マンガを牽引した巨匠たちが若き日に集ったアパートを再現しています。一部有料。

※履物を脱いで入館するため、靴下の着用が必要。

●水木しげる記念館

<https://mizuki.sakainato.net/>

〒684-0025 鳥取県境港市本町 5 番地

TEL:0859-42-2171

開館時間:9時30分～17時 年中無休

「ゲゲゲの鬼太郎」等の作者の代表作や戦争体験を紹介しています。有料。

●絵で見る抑留・引揚げ(平和祈念展示資料館)

<https://www.heiwakinen.go.jp/about/child/picture/>

戦後のシベリア強制抑留体験を、斎藤邦雄氏は「いろはかるた」にして表しました。また、大陸から日本に戻ってきた体験を「あしたのジョー」のちばてつや氏ほか、多数のマンガ家がイラストにしています。一部ウェブ上でも観られます。

●マンガ「シベリアからの手紙」「遥かなる紅い夕陽」(平和祈念展示資料館)

<https://www.heiwakinen.go.jp/library/shiryokan-comic/>

史実と体験者の証言をもとに作られたマンガを閲覧できます。前者は戦後の強制抑留、後者は満州からの引揚げの様子が描かれます。

●まんが『子ども太平洋戦争物語』(総務省)

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/virtual/comic/index.html

総務省が委託事業として作成した冊子を閲覧できます。子どもの視点から戦下の様子を描いています。

戦時・戦後を振り返る施設

●平和祈念展示資料館

<https://www.heiwakinen.go.jp/>

〒163-0233 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 33 階

TEL:03-5323-8709

開館時間:9時30分～17時30分 休館日:月曜日(祝日または振替休日の場合はその翌日)

先の大戦での兵士や強制抑留者、引揚げ者などの労苦を伝えます。入館料無料。

●東京大空襲・戦災資料センター

<https://tokyo-sensai.net/>

〒136-0073 東京都江東区北砂1丁目5-4

TEL:03-5857-5631

開館時間:10時30分～午後4時 休館日:月曜日(祝日または振替休日の場合は火曜日)

民間人を一方的に傷つける空襲について学び、平和の実現を目指します。一般・小学生以上有料。

●都立第五福竜丸展示館

<http://d5f.org/>

〒136-0081 東京都江東区夢の島2-1-1、夢の島公園内

TEL:03-3521-8494

開館時間:9時30分～16時 休館日:月曜日(祝日のときは火曜日)

米国の水爆実験で被ばくしたマグロ漁船「第五福竜丸」本体と関係資料を展示しています。入場無料。

●昭和館

<https://www.showakan.go.jp/>

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1

TEL:03-3222-2577

開館時間:10時～17時30分 休館日:月曜日(祝日の場合は火曜日)

昭和時代の戦争に関わる資料を展示し、その労苦を次世代に伝えます。一部有料。

●しょうけい館(戦傷病者史料館)

<https://www.shokeikan.go.jp/>

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-5 グリーンオーク九段2階

TEL:03-3234-7821

開館時間:10時～17時30分 休館日:月曜日(祝日または振替休日の場合はその翌日)

戦傷病者の労苦を後世に語り継ぐ施設。入館料無料。

●広島平和記念資料館

<https://hpmmuseum.jp/>

〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-2

TEL:082-241-4004

※開館時間は月により異なります。

被ばく資料を通して核兵器の廃絶を訴えます。中沢啓治が自らの被ばく体験をもとに描いた「はだしのゲン」の原画が寄贈されています。中学生以下無料。

●立命館大学国際平和ミュージアム

<https://rwp-museum.jp/>

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL:075-465-8151

開館時間:9時30分～16時30分 休館日:日曜日および祝日の翌日

「平和と民主主義」の理念を具体化すべく開設された博物館。館内には戦後日本マンガの立役者、手塚治虫の「火の鳥」の壁画があります。有料。